

令和6年度 第2学年技術・家庭科(家庭) 年間指導計画・評価計画

1 評価方法

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
項目	<ul style="list-style-type: none"> ・衣服と社会生活との関わりが分かり、目的に応じた着用、個性を生かす着用及び衣服の適切な選択について理解している。 ・衣服の計画的な活用の必要性、衣服の材料や状態に応じた日常着の手入れについて理解しているとともに、適切にできる。 ・製作する物に適した材料や縫い方について理解しているとともに用具を安全に取り扱い、製作が適切にできる。 ・家族の生活と住空間との関わりや家庭内の事故の防ぎ方など、住居の基本的な機能について理解している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・衣服の選択、材料や状態に応じた日常着の手入れの仕方、生活を豊かにするための布を用いた物の製作計画や政策、家族の安全を考えた住空間について問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。 ・自分や家族の消費生活の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、計画を立てて実践した結果を評価・改善し、考察したことを論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。 	<p>よりよい生活の実現に向けて、衣服の選択、材料や状態に応じた日常着の手入れの仕方、生活を豊かにするための布を用いた製作、住居の機能と安全な住まい方、自分や家族の消費生活について、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、生活を工夫し創造し、実践しようとしている。</p>

2 年間指導計画

学期	月	単元名	時数	学習内容	評価規準と評価の観点
1 学期	4	衣生活と自立	9	衣服で伝わるメッセージ	<ul style="list-style-type: none"> ・衣服と社会生活との関わり、目的に応じた着用や個性を生かす着用、衣服の計画的な活用の必要性について理解している。(知) ・衣服の材料や状態に応じた日常着の手入れについて理解し、適切に行える。(知) ・衣服の選択や日常着の手入れについて問題を発見し、課題を設定している。(思) ・衣服の選択や日常着の手入れについて生活を工夫し創造し、実践しようとしている。(主)
	5			自分らしくコーディネート	
	6			和服の文化 衣服の選択 衣服の手入れ	
	7			繊維に応じた手入れ 洗濯について 補習・収納・保管	
2 学期	9	衣生活と自立	16	住まいのはたらき	<ul style="list-style-type: none"> ・家族の生活と住空間との関わりや家庭内事故の防ぎ方など家族の安全を考えた住空間の整え方について理解している。(知) ・家族の安全を考えた住空間の課題について解決策を考え、実践し評価・改善して考察したことを論理的に表現している。(思) ・製作する物に適した材料や縫い方について理解し、用具を安全に取り
	10			住まいの空間 家庭内事故 災害への備え	
	11			生活を豊かにするために (製作)	

				<p>扱い、製作が適切にできる。(知)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・物資やサービスについて理解している。(知) ・物資やサービスの購入について問題を発見して課題を設定している。(思) ・商品の選択と金銭管理について課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、生活を工夫し創造し、実践しようとしている。(主) 	
3 学 期	12	家庭生活と消費	<p>消費生活のしくみ</p> <p>家庭生活の収入と支出</p> <p>購入方法</p>		
	1	家庭生活と消費	10	<p>購入前に知っておくこと</p> <p>いろいろな支払方法</p> <p>情報を活用した上手な購入</p> <p>消費者被害</p> <p>消費者の権利と責任</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・売買契約の仕組み、支払方法の特徴、計画的な金銭管理の必要性や消費者の基本的な権利と責任について理解している。(知) ・物資、サービスの購入について解決策を考え実践し、評価・改善して考察したことを論理的に表現するなどしている。(思) ・計画的な金銭管理や消費者被害の対応について、課題の解決に主体的に取り組む、生活を工夫し創造し実践しようとしている。(主)
	2				
	3	家庭生活と地域	<p>家庭生活と地域での活動</p> <p>多様な人々が暮らす地域</p> <p>地域に暮らす高齢者</p> <p>高齢者との関わり</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者など地域の人々と協働する必要性や介護など高齢者との関わり方について理解している。(知) ・家族や地域の人々と協働し、よりよい生活の実現に向けて家族・家庭や地域との関わりについて課題の解決に主体的に取り組もうとしている。(主) 	